

「ご献体を用いた全身のリンパ網の検討」

に対するご協力をお願い

研究責任者 貴志 和生
研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 形成外科学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

慶應義塾大学医学部篤志会会員で、死後、ご献体いただいた方々の解剖献体

2 研究課題名

承認番号 20241036

研究課題名 ご献体を用いた全身のリンパ網の検討

3 研究組織

研究機関

慶應義塾大学医学部

研究責任者

形成外科 教授 貴志 和生

共同研究機関

琉球大学病院 形成外科

機関の長

教授 清水 雄介

4 本研究の目的、方法

形成外科ではリンパ浮腫に対する外科的治療を行なっています。リンパ浮腫はがんの術後などリンパ管の流れが悪くなった際に生じる疾患です。しかし、このリンパ浮腫の原因となるリンパ管に関する知見は未だ不十分となっています。なぜリンパ管は観察が極めて困難なことかなぜリンパ浮腫が生じるのか、悪化するのかなどの正確な原因がわかっておらず、さらなる研究が待たれています。

本研究では献体遺体を用いたリンパ管、リンパ節に関する肉眼解剖を行うことで、正確な解剖学的

構造についての理解を深めることを目的とします。

5 協力をお願いする内容

慶應義塾大学医学部解剖学実習室および準備室において、慶應義塾大学医学部篤志会入会者からの献体を用いて、血管やリンパ管の染色を行います。そのうえで観察対象となる部位をご献体から切り出した上で、顕微鏡下に皮膚・皮下脂肪・筋肉に分布する血管やリンパ管を観察します。また、試料を適切な大きさに分割し、X線写真を撮影することで画像解析も行います。また透明化も行います。得られた組織は共同研究施設である琉球大学でも解析を行います。

あわせて献体の年齢と性別、死亡診断書および死体検案書から死因情報を利用します。その他の情報に関しては利用せず、本情報のみから個人の特定は困難と考えます。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2028 年 3 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

研究協力機関である琉球大学病院へは、個人が特定できないよう匿名化した組織のみを郵送にて提供します。データから個人を識別するための対応表は作成していません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、試料・情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

住所:〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 番地
電話:03-5363-3814(医局直通、平日 10 時～16 時対応)
担当者:慶應義塾大学医学部 形成外科学教室
特任助教 鈴木 悠史

以上